

# 規制改革推進会議 投資等WG資料

---

2018年3月15日

株式会社KADOKAWA

角川 歴彦

## ～議題1～

日本の放送コンテンツを世界で戦えるものとするために、現在の放送局が果たすべき取組と、その取り組みに政府はどう関与すべきか

- ① 放送局のコンテンツ製作力

## ～議題2～

通信・放送融合時代における放送に課される各種規制の在り方について  
—放送法を抜本的に見直す時代が来た—

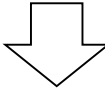
- ① 海外の事例
- ② 地上波4K化の投資
- ③ 放送事業者の著作権法とビジネスモデル
- ④ 通信なみの安価な放送システム
- ⑤ 放送法を抜本的に見直す時代が来た
- ⑥ 最近の放送業界での事例

# 1つのスタジオで撮った番組を「地上波」「衛星」「PC」「スマホ」に展開



タイはでは放送と配信を隔てる法律はなく、デジタルテレビで放送したコンテンツをWEB経由で配信することが問題なく行える。

アマリンでは、アマリンTV(地上波デジタル)で放送した番組を、4スクリーン全てで見ることができる。

アメリカ	日本
<p data-bbox="192 682 876 746">放送 <math>\leq</math> インターネット動画</p> <p data-bbox="288 896 785 949">Netflixの会員は1億人</p>	<p data-bbox="1096 682 1779 746">放送 <math>&gt;</math> インターネット動画</p>  <p data-bbox="1110 896 1788 949">3年後の日本はアメリカに追随</p>

# 放送と動画の有料課金化



KADOKAWA

アメリカ		日本	
<u>ケーブルテレビ</u> ・ESPN ・Comcast ・Time Warner Cable  <b>高額</b>  \$80～100/月	<u>インターネット</u> ・Netflix ・アマゾンプライム ・フールー  <b>低額</b>  \$7～9 /月	<u>各種テレビ</u> ・NHK ・WOWOW  <b>中間価格</b>  1200～2500円/月	<u>インターネット</u> ・Netflix ・dアニメ ・ダゾーン ・アベマ ・dTV ・フールー



**KADOKAWA**